



令和4年7月14日

四国地方整備局

四国山地砂防事務所

【中止】

深層崩壊による河道閉塞（天然ダム）の発生を
想定したヘリコプターによる防災訓練について

～土砂災害防止法に基づく緊急調査に必要な観測機器運搬訓練～

令和4年7月12日（火）に記者発表し、令和4年7月14日（木）に実施を予定しておりましたが、ヘリコプターによる防災訓練（観測機器運搬訓練）は天候不良のため中止します。

※同様の訓練を実施する場合、改めて記者発表いたします。

【中止する訓練の概要】

◆土砂災害を想定したヘリコプターによる防災訓練

（開催日時・場所）

- ・令和4年7月14日（木）13:00～17:00
- ・「にしみね」場外離発着場（高知県長岡郡大豊町西峯）～
想定観測地点「境川」（三好市西祖谷山村有瀬）

本施策は、四国圏広域地方計画「No.1南海トラフ地震を始めとする
大規模土砂災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問合せ先

国土交通省 四国地方整備局 河川部 河川計画課 TEL:087-811-8317
◎課長補佐 相田 晴美（あいだ はるみ）

土砂災害を想定したヘリコプターによる防災訓練の実施について

■ 訓練日時：令和4年7月14日（木） 13時～17時

ヘリコプターの飛行は13時から17時頃の間で90分程度を想定しています。

地域住民の皆さま
をお願いいたします

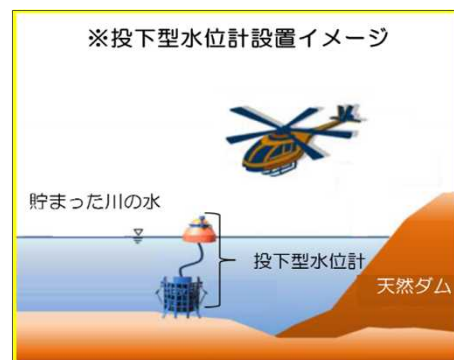
中止

ご理解ご協力

【訓練概要】

河道閉塞（天然ダム）※により川の流が堰き止められ、上流側に大量の水がたまった時の水位を迅速かつ的確に観測するため、投下型水位計をヘリコプターにより高松空港から大豊町にしみねのヘリポートへ輸送し、そこから観測地点の境川に運搬する訓練を実施します。

訓練のイメージ



【※河道閉塞（天然ダム）とは】

大雨や地震などによって、山から流れ出た大量の土砂が川を塞ぎ、水の流をせき止めることを河道閉塞（天然ダム）と呼びます。

河道閉塞の上流では、せき止められた川の水の上昇による浸水被害が生じます。また、河道閉塞が決壊すると大量の土砂や水が下流に流れ出し、大規模災害に発展する場合があります。



【投下型水位計（土研式投下型水位観測ブイ）とは】

- ・ヘリコプターで運搬し、天然ダムに投下するだけで設置が完了でき、水位観測を迅速に開始
- ・作業員が地上で作業を行う必要が無いため、土石流などによる二次災害の遭遇を回避可能
- ・天然ダム湛水域の中央部への設置が可能のため、溪岸からの土砂流入による機器の破損・流失の危険が少なくなり、安定した測定可能

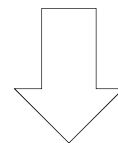
ヘリコプターの飛行ルート (予定)

- ① 高松空港
↓↑
- ② にしみね場外離発着場
↓↑
- ③ 観測地点 境川
(徳島県と高知県の県境付近)



※飛行ルートは全て現時点での予定であり、当日の天候等により変更する場合があります。

にしみね場外離発着場から境川までの飛行ルート (実線部分)



出典：国土地理院ウェブサイト (<http://www.gsi.go.jp/>)